

経営比較分析表（令和4年度決算）

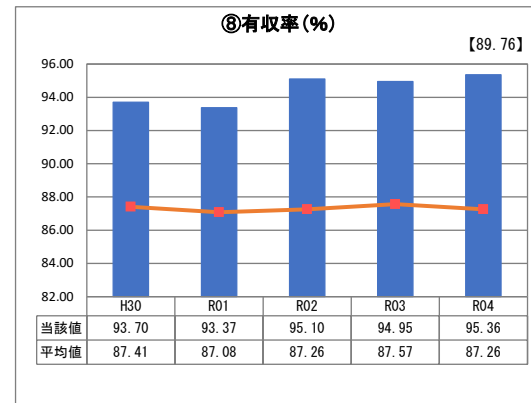
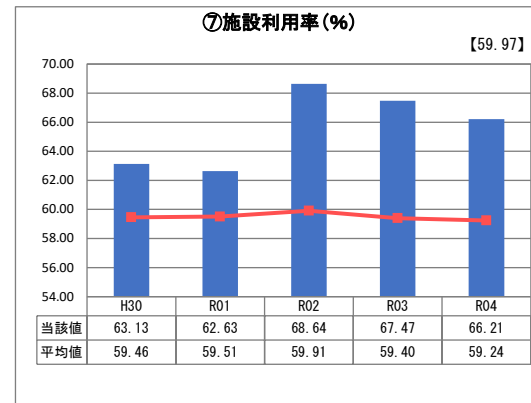
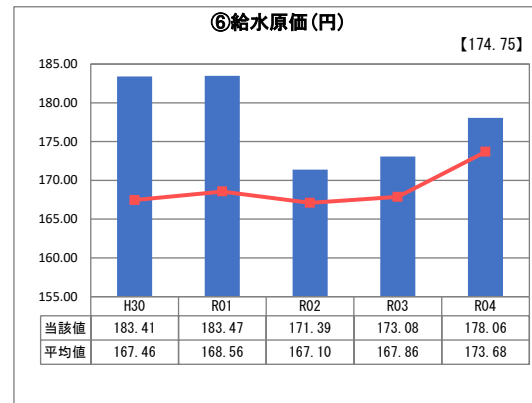
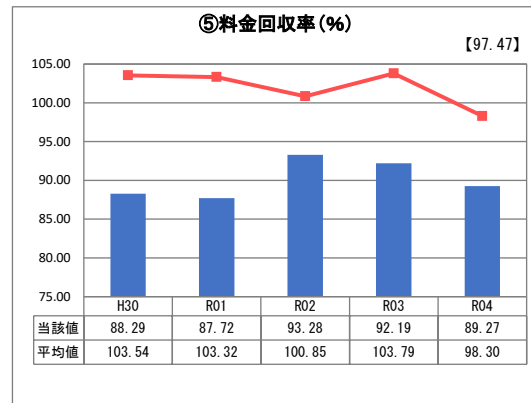
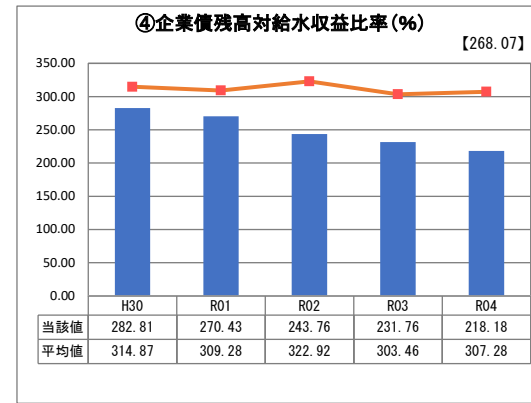
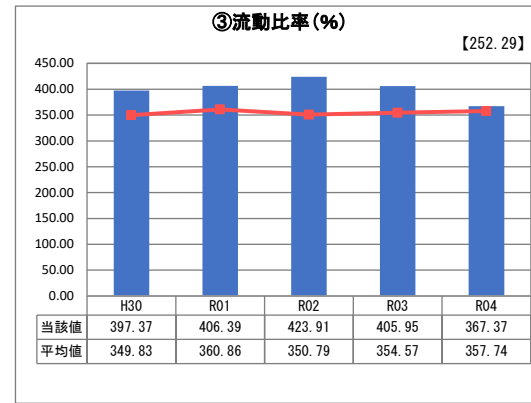
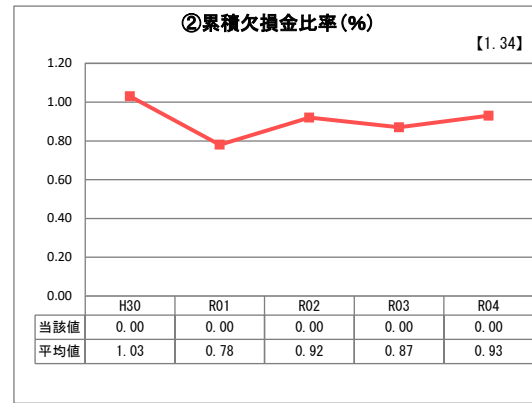
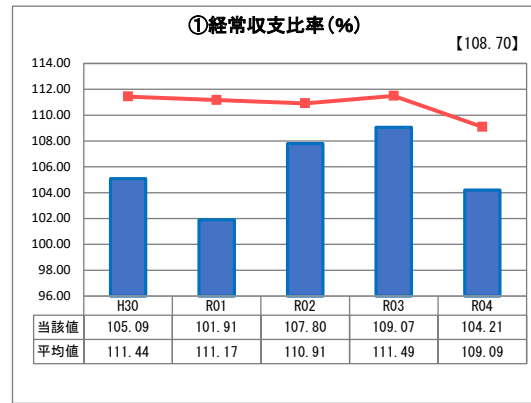
千葉県 松戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の状況
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.59	16.12	2,761	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
497,120	61.38	8,099.06
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
80,187	8.99	8,919.58

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

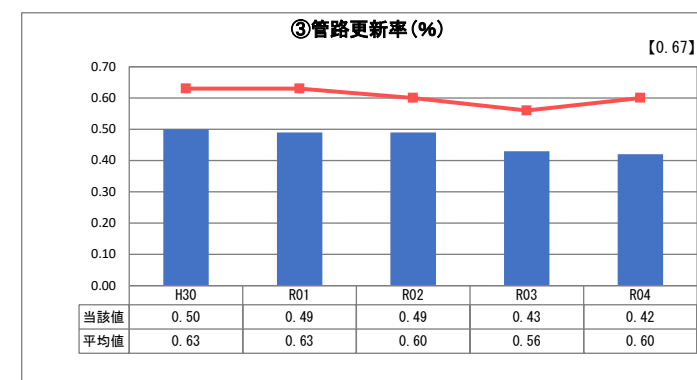
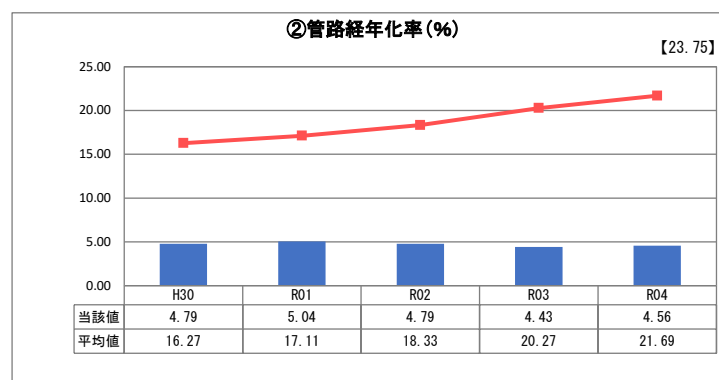
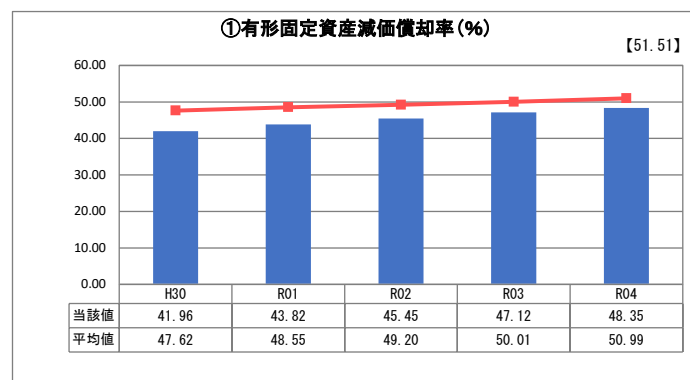
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び⑤料金回収率については類似団体平均値より下回る傾向が続いた。令和4年度も①、⑤とも同平均値を下回り、①は経常費用の増加及び経常収益の減少により前年度より減少した。
 ②累積欠損比率は0%を維持している。
 ③流動比率については、前年度より減少した。類似団体平均値を上回る傾向にあり、短期的な支払い能力に問題はない。一方、④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っており、この先施設更新の増加が予想される中で、より効率的な資金計画を検討していく必要がある。
 ⑦施設利用率及び⑧有収率は類似団体平均値より高い数値を表している。このことから、施設規模は適切であり、施設の稼働状況が収益に反映されていることがわかる。
 ⑥給水原価については有収水量の減少により前年度より増加した。今後も給水収益は減少傾向にあり、施設の維持管理に係る費用の増加が見込まれるため、引き続き経営改善に努めなければならない。

2. 老朽化の状況について

平成25年度までに石綿管更新事業（老朽管更新事業）を終了しており、②管路経年率は類似団体平均値と比較して良好な数値が続いている。
 ③管路更新率については、類似団体平均値を下回る状況が続いている。
 ①有形固定資産減価償却率も類似団体平均値を下回っているが、年々増加傾向にあり、老朽化が進んでいる浄・配水場施設更新を重点的に進める必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

老朽化の状況が全国平均の値と比較して良好な状態にあることは、石綿管及び浄・配水場施設の更新を行ってきた成果と言える。しかし、経営の健全性（経常収支比率、料金回収率、給水原価）については類似団体平均値より不良な状態となっており、一層の経営改善に努める必要がある。
 今後も老朽化した浄・配水場や管路の更新及び耐震化等に係る費用が見込まれるため、財政収支の見直しを考慮しながら効率的・計画的に施設を整備し、いつでも安心して水道水が使えるよう、健全経営を行っていく。